

# 信大附属長野中学校 研究の概要

本校の研究についての詳しい情報はコチラから



## 1 令和6年度「目指す生徒の姿」「全校研究テーマ」

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による新たな価値を創造する資質・能力の育成(2年次)

## 2 「目指す生徒の姿」「全校研究テーマ」の設定理由及び捉え

本校が目指す生徒像を据えるために、本校の学校教育目標の生徒像に加え、文部科学省の学習指導要領が目指す生徒像、長野県が目指す生徒像を踏まえ、本校職員の願いと本校生徒の実態から、本校が目指す生徒の姿を**豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者**と据え、「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成することにした。

**目指す生徒像を据える**

研究記録 P.6~9

信州大学 | 信大附属長野中学校

附属長野中学校  
学校教育目標

文部科学省  
学習指導要領

長野県  
教育振興計画

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

**目指す生徒像を据える**

研究記録 P.6~9

信州大学 | 信大附属長野中学校

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

教師の願い

生徒の思い

主体的に社会に働きかける  
姿勢をもってほしい

自分には自信がなかったり  
自分にはできないと思う

**新たな価値を創造できる資質・能力** 「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした汎用的スキル

**ア 問題発見・解決能力** (各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと)

**イ 批判的思考力** (多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと)

**ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力**

(自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなど)

これまでの研究で見えてきた成果と課題を踏まえ、「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するための学びを、キャリア教育と STEAM 教育に求めた。キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立を目指している。そのキャリア教育を充実させるための視点を明確にするために、新たな学びのもう一本の軸として、科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学の五つの分野を総合的に学ぶ STEAM 教育に着眼した。なお、本校は STEAM 教育を、教科の枠を超えて実生活・実社会の諸課題(正解のない問い、最適解・納得解など)を解決する学びと捉えている。このキャリア教育と STEAM 教育の二つの学びを関連付けていくことを目指して、「キャリア×STEAM」と表記し、本校の全校研究テーマを「キャリア×STEAM」の学習による新たな価値を創造できる資質・能力の育成と据え、その具現を図るカリキュラム編成を行うこととした。

**全校研究テーマを据える**

研究記録 P.10~15

信州大学 | 信大附属長野中学校

【新たな価値を創造できる資質・能力】  
「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした汎用的スキル  
ア 問題発見・解決能力  
(各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと)  
イ 批判的思考力  
(多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと)  
ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力  
(自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなど)

キャリア教育

STEAM教育

「キャリア×STEAM」という新しい学びが必要!

**全校研究テーマを据える**

研究記録 P.20~21

信州大学 | 信大附属長野中学校

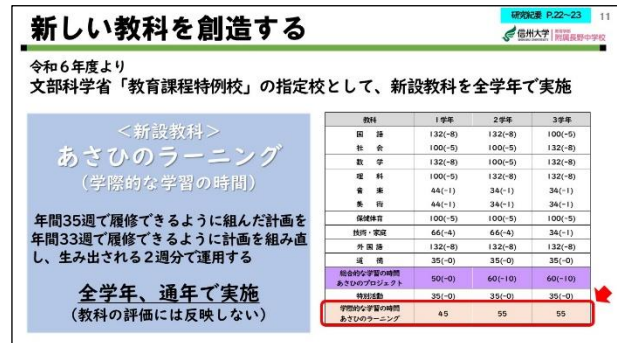
キャリア教育

STEAM教育

「キャリア×STEAM」という新しい学びが必要!

(1) カリキュラムを三つのアプローチに分ける

そこで、各教科等の授業とあさひのプロジェクトをつなぐ、教科横断型の学習「あさひのラーニング（学際的な学習の時間）」を全学年で新設し、カリキュラムを三つのアプローチに分けて、「新たな価値を創造できる資質・能力」の育成を目指すことにした。なお、本校では、文部科学省「教育課程特例校」指定を受け、令和6年度よりあさひのラーニングを実施している。



| 「探究」のレベル                                               | 問い | 手続 | 解法 |
|--------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1. 確認のための探究<br>前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する          | ✓  | ✓  | ✓  |
| 2. 構造化された探究<br>与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する         | ✓  | ✓  |    |
| 3. 指導された探究<br>生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する | ✓  |    |    |
| 4. オープンな探究<br>生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。 |    |    |    |

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の入づくり—』(2022)より

そこで、白井氏の助言を受け、本校が捉える「探究の方法論」が身につけば、教科の授業でも総合的な学習の時間の授業でも探究的な学習になり得ると考えた。そして、「教科等の学習」「あさひのラーニング」「あさひのプロジェクト」の三つのアプローチによる学習における探究的な学習の具現を目指し、実践研究を進めている。



【参考文献】・白井 俊『探究モードへの挑戦－高度化・自律化を目指すSDGs時代の人づくり－』（2022）  
・奈須正裕『子どものための授業づくり』（内外教育 令和6年3月号）（2024）



#### 4 本年度の研究授業および研究活動の取組

##### 【Ⅰ：教科・アプローチ】各教科等の授業

- 4月 指導主事研修会 <国語・理科・英語>  
 5・7月 教科研修会Ⅰ・Ⅱ  
 <国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術家庭・英語>

##### 成果と今後の研究の見通し

- ・教科研修会Ⅰ・Ⅱでは、教科の授業研究を通して、大学生2年生への教職の魅力発信（教育実習への見通し）、本校職員（特に1～2年目の職員）の研修の両方を達成することができた。今後は、教職大学院や現職の先生方に加え、初任者なども参加者に含めた研修の機会として位置付けていきたい。
- ・各教科等の授業と「あさひのラーニング」や「あさひのプロジェクト」との繋がりを示すために、さらに授業公開の機会を充実させていくことを視野に入れていく。

##### Ⅰ：教科・アプローチ（教科等の授業）

###### 生徒の「問い」や「願い」から学びが始まる授業づくり



- ・生徒と事象との出会いの場面の工夫
- ・授業中で適切な集団や場面で対話の機会を設ける

##### 5・7月 教科研修会Ⅰ・Ⅱ（教科学習）



- ・1～2年目の教諭が授業公開
- ・参加者は主に大学生、大学院生、現職教諭、など
- ・懇談会では、授業づくりについての情報交換（指導者のご指導を含む）



授業の詳細はコチラ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/naga-chu/workshop/cat19986/post-16.html>

##### 【Ⅱ：プル・アプローチ】<新設教科>あさひのラーニング

- 通年 探究の時間（水曜日の午後の日課全てを探究学習に充てる）  
 【講座学習】講演会（年5回）、「課題研究メソッド」を用いた授業 等  
 【テーマ学習】持続可能な社会の実現（1学年）、AIの活用（3学年） 等  
 10月 中学校教育研究会  
 1学年【講座学習】探究の「問い」を見いだそう  
 2学年【テーマ学習】あったらいいな、こんなもの  
 3学年【ユニット学習】ラーメントoppingを開発しよう

##### 成果と今後の研究の見通し

- ・新設教科として、通常の教科ではできない授業を構想・実施することができた。生徒も教科の枠を越えた追究をしている姿があり、その有用性を感じていた。また、講演会を年5回位置付けることができ、様々な分野の専門家の講演を通して、生徒の探究心を育むことができた。
- ・新設教科として、何をどのように評価していくかを、引き続き検討していく。また、持続可能な取組にしていくために、引き続き、単元開発・教材開発を行い、ノウハウを蓄積していく。

##### Ⅱ：プル・アプローチ（あさひのラーニング）

###### 生徒の探究心を育む「教科横断的な学び」の創造

###### 【講座学習】

- ・探究についての学習や講演会、生徒同士の異学年交流



##### 10/18 中学校教育研究会（あさひのラーニング）

- 1学年 課題研究メソッドの活用  
 2学年 プロトタイプ製作  
 3学年 地元企業との共同学習



授業の詳細はコチラ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/naga-chu/research/cat20010/post-39.html>

【Ⅲ：プッシュ・アプローチ】あさひのプロジェクト ※「成果報告書」は3月発刊予定

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 通年  | 探究の時間（水曜日の午後の日課全てを探究学習に充てる）   |
| 7月  | ヒューマン・ウィーク（2学年：社会体験学習を含む）     |
|     | 成果報告会①@附属長野中学校                |
| 10月 | 中学校教育研究会                      |
|     | 1学年：これからの社会に触れる私（プレゼン発表）      |
|     | 2学年：これからの社会と関わる私（異学年による座談会）   |
|     | 3学年：これからの社会を生きる私（販売活動・ポスター発表） |
| 11月 | 附属長野中ワークショップ@附属長野中学校          |
|     | 「探究的な学び」4校合同成果発表交流会@長野市立長野中学校 |
| 12月 | 成果報告会②@附属長野中学校                |
| 2月  | 成果報告会③@附属長野中学校                |

成果と今後の研究の見通し

- ・生徒の「やってみよう！」を基にした活動の立ち上げ、探究の時間、ポスターセッションなどを通して、チームで協働して問題発見・解決をするよさと難しさを、生徒も教師も実感することができた。また、中学校3年間の学びの系統性を意識した年間計画を構想・実施することができた。
- ・教師の立ち位置（伴走の仕方）が難しいと感じた職員も多かった。持続可能な取組にしていけることにも焦点を当てて、引き続き、実施時期や時間、運用の仕方等を検討し、ノウハウを蓄積していく。

Ⅲ：プッシュ・アプローチ（あさひのプロジェクト） 信州大学 附属長野中学校 28

様々な他者と関わり、協働しながら「自己の生き方」を考える

中学校 → 高等学校 → 将来

高校  
（社会科探究の時間）  
自己の探究テーマから一歩すすんで社会  
現象を自ら発見し、探究していく

中学3学年  
（総合的な学習の時間）  
授業の自己のテーマから、自己と社会に関わることに意識を向ける

中学2学年  
（総合的な学習の時間）  
自分らしい生き方を模索していくという自己の生き方を意識する

中学1学年  
（総合的な学習の時間）  
社会に存在する課題に目を向け、解決に向け、  
自分の経験や考えをもとに探究していくという自己の生き方を意識する

・中学校卒業後を見据えた学びの系統性

自己の生き方

10/18 中学校教育研究会（あさひのプロジェクト） 信州大学 附属長野中学校 29

1学年 分野別の活動報告

2学年 異学年による情報交換

3学年 チーム別の活動報告

授業の詳細はコチラ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/naga-chu/research/cat20010/post-40.html>

今年度新聞等で紹介された活動の一部 信州大学 附属長野中学校 30

週刊長野（2024年11月23日）

リーダーの清水愛子さん  
自らの腰痛体験 羅に「しめネード」に思い込め

信大付属長野中3年生チームが募金活動

信濃毎日新聞（2024年11月10日）

車いすバスケット 楽しもう

信大付属長野中が体験会を企画

共生社会 実現目指し

長野市民新聞（2024年10月1日）

特殊詐欺防止を啓発

信大付属長野中が詐欺防止啓発活動

信濃毎日新聞（2024年7月17日）

信大付属長野中生 協力し開発中 ハーゲンダッツ社  
リンゴとアイス 特製パフェ

県内スーパードレシビ公開へ



## 【10/18 中学校教育研究会の様子】



中学校受付・接待の様子



1 学年あさひのラーニングの様子（1 C・1 E）



2 学年あさひのラーニングの様子（2 C・2 E）



3 学年あさひのラーニングの様子（3 C・3 D）





生徒との自由交流の様子



あさひのラーニング懇談会の様子



昼食時の活動の様子



販売活動・小学校受付の様子





1 学年あさひのプロジェクトの様子



2 学年あさひのプロジェクトの様子



3 学年あさひのプロジェクトの様子



## 【そのほかの取組】

内閣府 白井俊 参事官講演会 (4/27 実施)

信州大学 信州大学教育学部附属長野中学校

OECD Education 2030  
プロジェクトが描く  
教育の未来

—日本が目指すべき「探究」とは何かを考える—

2024.4.27 13:30~15:15

講師 白井 俊氏

内閣府参事官、イノベーション推進事務局次長  
経済産業省、デジタル産業政策部次長  
文部科学省、教育政策課長  
OECD Education 2030 プロジェクトの推進者として、国際的な視野から「探究」の重要性を説き、日本の教育現場にどう活かすかを語り、参加者から大きな反響を呼んでいる。本日の講演会は、この反響を受けての企画である。

信州大学教育学部附属長野中学校 中村 高

〒251-8585 長野県長野市大字 1-1-1  
TEL: 026-243-0633 FAX: 026-243-0901  
MAIL: nc.jimukyaku@shinshu-u.ac.jp  
HP: https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/

あさひのラーニング講演会 (年5回実施)

探究学習カフェ (10/18、12/16 実施)

信州大学 信州大学教育学部附属長野中学校

長野県教育委員会「学びの改革イニシアティブ」～「探究」推進のための研究～指定校(2年次)  
文部科学省「教育課程特例校」指定校(1年次)

令和6年度  
新教科 あさひのラーニング  
講座学習(講演会)のお知らせ

会場 信州大学教育学部附属長野中学校\* 定員 制限なし

申込方法 本校HPもしくは右記のQRコードより 申込締切 開催日の前日まで

\*本年度、会場となる本校体育館が改修工事のため、一般参加者の皆様には、講演会の様子をお楽しみください。申込QRコード

第1弾 #キャリア講座 #対面開催\* #オンデマンド配信

10年後の社会の未来像を描けますか?  
～地元の会社も「わくわくする未来」を考えて働いています!～

日時: 6/26(水) 13:10～14:00  
講師: 株式会社牛越製作所 代表取締役 牛越彰弘氏

第2弾 #探究講座 #オンライン開催\* #オンデマンド配信

探究って仕事になるんですか?  
～料理は世界を知る窓～

日時: 9/11(水) 13:10～14:00  
講師: 世界の台所探検家 岡根谷実里氏

第3弾 #STEAM講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信

昆虫の知能はAIを超えるか?  
～ファール昆虫記のなぞに迫る～

日時: 10/2(水) 14:10～15:40  
講師: 東京大学名誉教授 先端研シニアリサーチフェロー 神崎亮平氏

第4弾 #キャリア講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信

なぜ社会奉仕を実践し続けるのか?  
～中学生が社会奉仕に参画する意義～

日時: 11/13(水) 13:10～14:00  
講師: 長野白樺ライオンズクラブ・朝陽野レオクラブ

第5弾 #STEAM講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信

水を安全に変えることが未来につながる?  
～信大クリスタルが拓く新しい未来～

日時: 1/22(水) 13:10～14:00  
講師: 信州大学アクアリウム・リネーション機構 機構長/卓越教授 手嶋勝弥氏

好評につき  
第2弾開催!

探究について自由に  
語り合いませんか?

附属長野中学校プレゼンツ  
探究学習カフェ

令和6年12月16日(月) 16:30～17:30\*

\*オンライン交流会【第2弾】として開催

参加 無料

対象 教育関係者なら誰でもOK!

定員 ありません!

会場 オンライン開催(※WEB会議システム「Zoom」を使用)

本校職員\*\*と探究について気軽に交流ができます!

探究学習ってどんな準備をしたらいいの? など

今気になる事や悩みなどを自由に語り合しましょう!

\*\* 研究主任、あさひのラーニング授業者、各学年のあさひのプロジェクト(総合的な学習の時間)実践者を予定

公式SNSでも研究などの情報発信をしています

附属長野中学校HP  
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/

附属長野中学校公式X  
https://twitter.com/F\_Nagano\_JH

附属長野中学校公式Instagram  
https://www.instagram.com/shindai\_fuzoku\_nagano\_jh/

教科研修会 I・II (5/15、7/3 実施)

オンライン交流会 (7/26、12/14 実施)

令和6年度 信州大学教育学部附属長野中学校 教科研修会(I・II) ご参加のお願い

本定例、新年度の授業スタートにあたり、授業づくりや教材研究について、協働することはありませんか?本年度、本校では、信州大学教育学部附属長野中学校(新設校)を公開した際、学年を交えて授業づくりの基盤について協働を行う予定です。そこで、学年が同じでなく先生方も一時的に授業を兼ねていただくという形で協働をいたします。お時間の午後、どなたでも参加可能です。ご参加、お待ちしております。

【期 日】1回目(I) 5月15日(水) 2回目(II) 7月3日(木) 13:45～16:05

| 教科   | 授業学年 | 単元(題材)名                            | 授業学年 | 単元(題材)名               |
|------|------|------------------------------------|------|-----------------------|
| 国語   | 3年   | 「家」について考える 一編一語                    | 2年   | アリスプラネット              |
| 社会   | 1年   | 世界の古代文明の謎                          | 2年   | 近世の日本                 |
| 数学   | 3年   | 式の計算の利用                            | 2年   | 文字式の利用                |
| 理科   | 3年   | 化学変化と電池                            | 1年   | 身の回りの物質               |
| 音楽   | 2年   | 曲調の変化やパートの役割を理解して合唱しよう             | 2年   | 情景を思い浮かべながらききまを大切に聴こう |
| 美術   | 1年   | 身近な「美」を鑑く                          | 3年   | 自分を表す                 |
| 保健体育 | 1年   | チームで連携!アタック・プレッシャー                 | 1年   | 誇りに出る 側立前転            |
| 技術   | 1年   | Fuzoku ベジタブルファームから家庭に野菜を届けよう(養育分野) | 1年   | 私たちの食生活(家庭分野)         |
| 英語   | 3年   | Languages in India                 | 2年   | Uluru                 |

※他のQRコードから「申し込みフォーム」を通じてお申し込みください。  
※学年が1年、2年、3年では、協働に関する授業を同時進行で行います。ご了承ください。

信州大学教育学部附属長野中学校 公開研修会(国語・理科) 13:45～16:05  
TEL: 026-243-0633 FAX: 026-243-0901  
MAIL: nc.jimukyaku@shinshu-u.ac.jp  
HP: https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/

信州大学教育学部附属長野中学校オンライン交流会2024

こんなお悩みやご要望、ありませんか?

「思考・判断・表現」や「主体的に取り組む態度」の育成について知りたい

定期テストの内容や応用問題を工夫したい

ICT機器を活用した生徒の主体的に取り組む授業をしたい

他校の先生方がどんな研究や実践をしているのか知りたい

私たちと一緒に語りませんか?

【第1弾】各教科の授業づくりや評価の工夫  
2024. 7/26(金) 13:00～14:00  
【第1弾】は終了しました

【第2弾】探究学習カフェ (県外視察報告を含む)  
2024. 12/16(月) 16:30～17:30  
下記キーワードをもとに自由に語り合うファシリテーター実施  
※探究学習、探究的学習、STEAM教育、キャリア教育、授業づくり、あさひのラーニング、あさひのプロジェクト、協働的な学習環境

開催方法 オンライン開催(※WEB会議システム「Zoom」を使用します)

申込方法 本校HPもしくは右記のQRコードより

申込締切 開催日の前日まで

参加費 無料

申込QRコード

本文書の詳細は本校にてご確認ください  
【お問い合わせ】  
信州大学教育学部附属長野中学校 研究主任 中村/広報担当 柳井  
Tel 026-243-0633 Mail nc.jimukyaku@shinshu-u.ac.jp